

# S-face

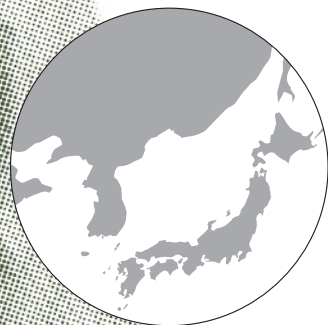
SFC makes the future through researches

朝鮮語から  
朝鮮民族を知り、  
世界を知り、日本を知る  
高木 文也

VOL.

024 /100

2018. Jan 発行  
和の色・土蔵緑色



# 世界各地の朝鮮語を採取し 朝鮮民族への理解を深める

北朝鮮問題、韓流ブームなど、朝鮮半島をめぐるニュースは、私たちにとって良くも悪しくも身近な存在となっています。

しかし、私たち日本人は、隣国で暮らす民族について、どの程度理解しているのでしょうか？

実は、朝鮮語・朝鮮民族は、私たちがイメージしている以上にグローバルな存在です。

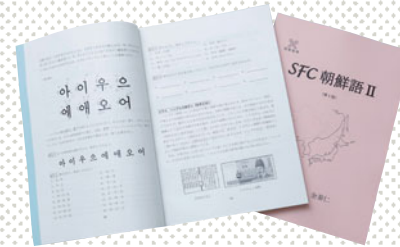
高木丈也専任講師は、世界各地に広がる朝鮮語の談話分析を通じて、  
朝鮮民族への理解を深めようとフィールドワークを重ねています。

私のフィールドワークでは、朝鮮民族の生活の場を訪問して朝鮮語母語話者同士の日常会話を録音させてもらい、それがどのような関係性、状況における会話なのかを考慮しながら言語的、文化的特徴をあぶり出していきます。特に在外朝鮮民族の調査では、移住第1世代の会話を多く採取するよう心がけています。なぜなら、第2世代以降は生活環境の変化などの影響を受け、言語の特徴が薄まってしまっているからです。だからこそ、今後の調査・研究は時間との闘いです。

中国朝鮮語に関する研究では、遼寧省、吉林省、そして北京市・広州市といった都市部での調査が終了し、今後は黒龍江省や内蒙古自治区などの調査を進めていく予定です。その後は、旧ソ連地域に居住する高麗人や、アメリカ



方言調査のフィールドワークを行う高木専任講師。調査では、方言話者どうしの自然な会話を採取することが求められる。できるだけ日常に近い心理状態で会話してもらうため、現場の雰囲気づくりに心を砕いているという。



## Profile 高木 丈也

慶應義塾大学総合政策学部専任講師。東京外国語大学外国語学部朝鮮語専攻卒業。東京大学大学院人文社会系研究科博士課程修了。2016年朝鮮学会研究奨励賞受賞。朝鮮語と、世界各地に散在する朝鮮民族の多様性に迫るため、精力的にフィールドワークを行っている。専門は朝鮮語学、社会言語学、方言学。博士(文学)。

詳しくはWebサイトへ

詳細インタビューや動画も  
ご覧いただけます

S-face

検索



慶應義塾大学SFC研究所

慶應義塾大学 湘南藤沢事務室 学術研究支援担当

〒252-0882 神奈川県藤沢市遠藤5322

Tel: 0466-49-3436 (ダイヤルイン)

E-mail: info-kri@sfc.keio.ac.jp

